

募集中!

いわての自然を
未来へつなぐために

いわて プラごみ 削減協力店

に **登録** して、プラスチックごみ削減に
一緒に取り組みませんか?

登録

できる事業所

取り組み例はチラシ裏面に記載

プラスチックごみ削減に関する取り組みを**3つ以上**
実践している岩手県内の店舗・事業所

登録のメリット /

1



「いわてプラごみ削減協力店」
として認定します

2



事業所の取り組みを
HP特設サイトでPRします

3



「いわてプラごみ削減協力店」
認定ステッカーを提供します

4



プラスチック代替試供品の
提供申込が可能です*



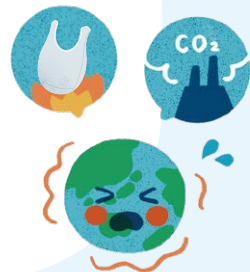
海洋プラスチックごみ問題

世界各地から海に流れていくプラスチックごみの量が、2050年には海の魚の量よりも、海洋中のプラスチックごみの量が超えるといわれ、問題となっています。

? **なぜプラスチックの使用量を減らさなければいけないの?**

気候変動の影響を緩和

石油からできているプラスチックを廃棄する際に燃やすと、CO₂が発生します。CO₂は地球温暖化の原因となっている「温室効果ガス」に分類され、地球温暖化への影響が大きいガスを発生します。



お申し込みはHPから、または裏面用紙をFAXでお送りください。

※事業計画書をご提出いただく必要があります。詳細はHP特設サイトをご覧ください。
※応募・申請資格は特定プラスチック使用製品多量提供事業者以外の岩手県中小事業者が対象となります。

募集期間

令和5年度

8月～2月末まで

お問い合わせ

特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて（いわてプラごみ削減担当）
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター アイーナ5F（環境学習交流センター内）
TEL:019-606-1752 / E-mail:eco@aiina.jp

この制度は岩手県環境生活部資源循環推進課の委託を受けて、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが運営しています。



取り組み例

プラごみ 削減のためにできること

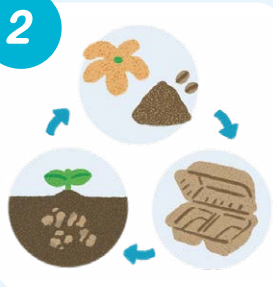
1



使い捨てプラスチックの利用を減らす

- プラスチックでできた容器や食器、カバーなどを使わない。
- 環境に配慮された材料を使っている製品の使用

2



再生材、バイオプラ、竹、木、循環型の素材を利用

- 紙製ストローや容器に変更
- 生分解バイオプラスチックの利用
- 循環型食器を使い、さらに循環する仕組みを取り入れる

3



使用済みプラスチック資源をリサイクルへ

- 食品トレー・ペットボトル回収
- プラスチックごみの分別・適正な処理
- 再生プラスチックを使った製品の製造や販売

4



プラごみ削減のための呼びかけ・意識改善

- プラスチックごみ削減啓発
- スタッフへマイボトル・マイバック使用を呼びかける
- プラスチックごみ対策としての、清掃ボランティア活動

参加申込書

いわてプラごみ削減協力店

申込日： 年 月 日

HPからも申込書をダウンロードできます

事業所名称 (必須)			事業種別 (必須)	
所在地 (必須)	〒			
担当者・連絡先 (必須)	担当部署	担当者氏名 (2名程度)		
	TEL (固定・携帯)			
	FAX	E-mail		
確認事項 (必須)	☐ 以下の記載内容に間違いがないことを確認して左の□欄に✓願います。 法人または役員は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団員若しくは同条第6号に規定する暴力団員またはこれらと密接な関係を有するものではない			
特設サイトへの掲載について	掲載の可否 (必須)	☐ 可 ☐ 否	可に✓を付けた場合、改めてプラごみ削減のための実施事業についての取材をさせていただきます。	
	店舗・事業所の紹介文	上記「取材可」に✓を付けた場合、ご記入ください。特設サイトに掲載する文章となります。		
	URL	特設サイトにリンクを希望の場合、ご記入ください。		

プラごみ削減取り組み項目 「取り組み項目」は、取り組み例の1～4の番号をご記入ください。

取り組み項目	取り組み内容(具体的に、3つ以上ご記入ください)

お申し込みは
HP・FAX・E-mailで



FAX: 019-606-1753 / E-mail: eco@aiina.jp

特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて(いわてプラごみ削減担当)
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター アイーナ5F(環境学習交流センター内)